

## 4月から、二酸化炭素の圧入開始！ (苫小牧CCS実証試験)

▶ 詳企業立地課  
☎(32)6438

Carbon dioxide Capture and Storage  
二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を回収して 貯留する

『CCS』とは、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素（以下、CO<sub>2</sub>）を大気放散する前に回収し、地下深くの地層へと運び、安定的に貯留する技術です。地球温暖化対策の切り札といわれ、海外でも取り組みが進んでいます。現在、国家プロジェクトとして苫小牧沿岸で「CCS実証試験」が進められています

### どうして苫小牧市で 実証試験が行われているの？

長期間、安全にCO<sub>2</sub>を貯留できる地層（貯留層）が存在するなどの理由により、全国115カ所の候補地から苫小牧市が実証試験地として選定されました

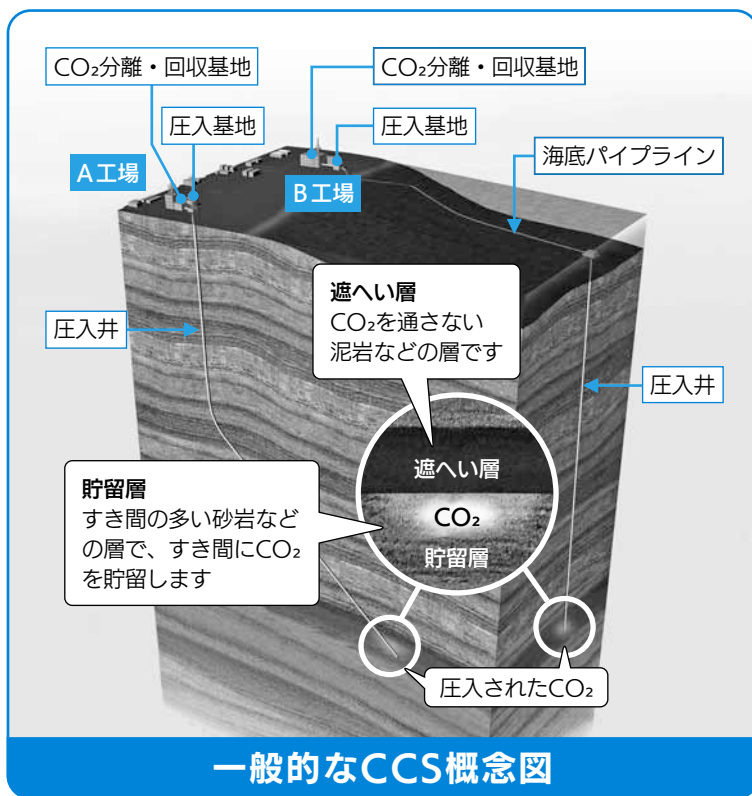
### 実証試験ではどんなことを しているの？

平成24年度から4年間にわたり、貯留層までの井戸掘削や地上設備の設計と建設が行われました

平成28年4月から、いよいよCO<sub>2</sub>の地中への圧入が開始される予定です



▲苫小牧CCS実証試験プラント(真砂町)



隣接する製油所からCO<sub>2</sub>を含んだガスがCCSプラントへ送られ、CO<sub>2</sub>のみを回収し、海底下1,000mより深い地層に圧入します。圧入する地層は、砂などでできた隙間のある地層で、上部にはふたの役目をする泥岩層があり、CO<sub>2</sub>が漏れ出さないようになっています

実証試験では、平成28年度からの3年間、年間10万トン以上のCO<sub>2</sub>を圧入し、CO<sub>2</sub>の挙動などを監視します。圧入後も監視を行い、安定的に貯留されていることを確認します。実証試験の状況は、市役所に設置されるモニターで随時情報発信される予定です

講演会でCCSをもっと知ろう！ CCS講演会「地球温暖化とCCS」

☎ 3月5日(土)13時から 所 グランドホテルニュー王子 定 300人 申 詳企業立地課 ☎(32)6438